

I. 本校の研究

1 研究主題

「子どもの声を生かし、自ら学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を高める学習指導の在り方」

2 研究仮説

学習課題の提示の仕方や児童同士が関わり合って学習できるような支援を工夫すれば、自ら学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力が高まる学習が展開されるであろう。

3 研究の重点（平成30年度）

(1) 学ぶ意欲を高めるための課題提示の工夫

- ・授業の始まりは、全員が考えを持てるものからスタートする。
- ・児童の中に「問い」が生まれる課題提示の工夫をする。

(2) 思考力、判断力、表現力を高めるための意見交流の場の工夫

- ・他の児童の考えが理解できたかどうかを意思表示すること（ハンドサイン等を活用）をさせ、児童同士が考えをつないでいく、全員参加の授業ができるようにする。

II. 本時の授業について

1. 単元名 「面積」

2. 単元目標

面積の概念を理解し、面積の単位 cm^2 、 m^2 、 km^2 、 a 、 ha を知る。また、長方形や正方形の面積の公式を知り、それらを求めることができる。

3. 本時の指導について（研究との関わり）

(1) 課題提示の工夫

本時は、「面積」の学習の導入場面の学習である。児童が大人になってアパートの部屋を借りるという設定で、3つの面積の異なる部屋（黄 $4\text{m} \times 4\text{m}$ 、赤 $3\text{m} \times 4\text{m}$ 、青 $3\text{m} \times 5\text{m}$ ）を提示する。そして、その中で一番広い部屋はどれか比べ方を考えることを問題として提示する。この時にまず、一番面積が小さい（狭い）部屋はどれかを考えさせる。児童には、部屋の50分の1の大きさの用紙を配布し、直接比較ができるようにする。それによって赤の部屋が一番小さいことは容易にとらえることができるであろう。次に黄と青の部屋の面積を比べさせる。今度は直接比較ではすぐには比べられないことを確認して課題につなげたい。

(2) 意見交流の場の工夫

本事業の推進校に指定されて以来、「子どもの声を生かした全員参加の授業」を目指し、特に考えを交流する場で全員が話し合いに参加できるようにするための方法を考えてきた。その支援の方法として、ハンドサインを活用し、一人の児童が考えを出したら、その考えについて理解できたかどうかを意思表示することを大切にしてきた。そして、友達の考えが理解できない場合は積極的に質問し、理解できた場合には最初に考えを出した児童の説明を受けて、更に分かりやすく説明ができるようになることを目指して実践している。一人の考えを他の児童も共有しながら学習進めることで、全員参加の授業ができると考えている。

…<以下、個人情報保護のため省略>…

4. 指導計画（9時間）

時	目 標
1（本時）	広さの比べ方を直接比較や単位量で比較することで考えることができる。
2	面積の単位 cm^2 を知る。また、長方形や正方形の面積を求める公式を見出し、面積を求めることができる。
3	複合図形の面積の求め方を工夫して考えることができる。
4	面積の単位 m^2 を知り、面積の公式を m^2 を単位とした場合にも活用して、面積を求めることができる。
5	長さの単位が異なる場合の長方形の面積を求めることができる。
6	1 m^2 の量感を養う。
7	面積の単位 km^2 を知り、大きな長方形の面積を km^2 単位で求めることができる。
8	面積の単位 a 、 ha を知り、 a 、 ha を単位として面積を求めることができる。
9	評価テスト

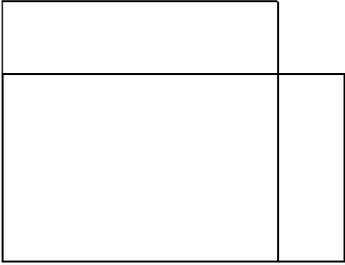
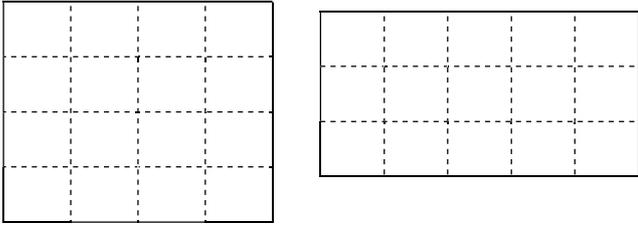
5. 本時の学習

(1) ねらい

- ・広さの比べ方を直接比較や単位量で比較することで考えることができる。(数学的な考え方)

(2) 展開

時 間	学 習 活 動	教 師 の 支 援
つ か む 8	<p>1. 本時の課題を知る。</p> <p>○ 3つの部屋を提示し、課題を知らせる。</p> <p>黄の部屋 縦4m 横4m 赤の部屋 縦3m 横4m 青の部屋 縦3m 横5m</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ひろし君はできるだけ広い部屋をかりたいと思っています。上の3つの部屋のどれをかりたらよいでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・赤の部屋が一番小さい。 ・黄と青はどちらが広いかわからない。 <p>【今日の学習】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>黄と青の部屋ではどちらがどれだけ広いかわかればよい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・50分の1の用紙を配布し、まず、一番狭い部屋はどれかを考えさせる。 ・黄と青では、すぐには比べられないことを確認する。
考 え る 7	<p>2. 自力解決をする。</p> <p>【やってみよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重ねて比べよう。 ・周りの長さで比べよう。 ・同じ大きさがいくつあるかで比べよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をして一人一人の考え方をつかんでおく。

<p>伝える</p> <p>25</p>	<p>3 お互いの考えを発表して、話し合う。</p> <p>【確かめよう】</p> <p>① 重ねて比べる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・重ならない部分を重ねると黄の方が1辺が1mの正方形分広い。 <p>② 周りの長さで比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらも同じだ。 <p>③ 1mを一辺とした正方形がいくつあるかで比べる。</p> <p>黄の部屋 青の部屋</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・16マスと15マスで黄の部屋の方が1辺が1mの正方形分広い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでハンドサインを活用しながら話し合いを進める。 ・③の考えが出ない場合は、①の考えで赤がどれだけ広いかを基にして考えさせる。 ・②の考えが出た時は、それについての話し合いは短く切り上げ、①と③の話し合いの後でもう一度取り上げる。 ・よい発言の仕方を認めながら話し合いを進める。 <p>評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・面積の比べ方を直接比較や単位量で比較することで考えている。 (数学的思考方) </div>
<p>まとめる</p> <p>5</p>	<p>4. 本時の学習のまとめをする。</p> <p>【まとめ】</p> <p>○ 今日の学習で分かったことをまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重ならないところをさらに重ねると広さを比べることができる。 ・同じ正方形がいくつあるかで広さを比べることができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>広さは、重ならないところを更に重ねることや同じ正方形がいくつあるかで比べることができる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・分かったことを基に、本時のまとめをする。

(3) 本時の評価基準

◎十分満足できる	○概ね満足できる	支援を必要とする場合の手立て
面積の比べ方を単位量で比較することで数値化して考えている。	面積の比べ方を直接比較や単位量で比較することで考えている。	面積を直接比較で考えるように支援するとともに、分からないことは進んで質問できるように支援する。

(4) 視点

- ・課題提示までの活動は、児童の問題解決への意欲を高めるものであったか。
- ・意見交流の場におけるハンドサインの活用は、思考力、判断力、表現力を高めるための支援として適切であったか。